

ロタウイルス

1 接種の対象者、接種回数及び接種方法

① 1価ワクチン(ロタリックス:2回接種)

区分	対象年齢	接種間隔	接種回数
1回目	福山市に住民票がある出生6週0日後から24週0日後までの間にある者 (初回接種については、生後2か月に至った日から出生14週6日後までの間を標準的な接種期間とする)	—	1回
2回目		1回目接種終了後、 27日以上	1回

② 5価ワクチン(ロタテック:3回接種)

区分	対象年齢	接種間隔	接種回数
1回目	福山市に住民票がある出生6週0日後から32週0日後までの間にある者 (初回接種については、生後2か月に至った日から出生14週6日後までの間を標準的な接種期間とする)	—	1回
2回目		1回目接種終了後、 27日以上	1回
3回目		2回目接種終了後、 27日以上	1回

※ 出生15週0日後以降の初回接種については、安全性が確立されておらず、出生14週6日後までに初回接種を完了することが望ましいとされています。このため、出生15週0日後以降に初回接種を行う場合、そのことについて十分に説明を行い、同意が得られた場合に接種してください。

※ ワクチン接種後に間欠的な啼泣や不機嫌、血便、嘔吐等腸重積症を疑う症状が被接種者にみられる場合は、速やかに医師の診察を受けさせるよう、接種時に保護者に対して説明してください。

※ 2回目以降の接種に当たっては、保護者が持参した予防接種済証又は母子健康手帳等により、1価ワクチン(2回接種)か5価ワクチン(3回接種)のいずれの接種歴があるか確認してください。

2 接種不適当者及び接種要注意者

(1) 接種不適当者(接種を受けることができない者)

次の各号に掲げる者は、予防接種を受けることができない。

- ① 明らかな発熱を呈している者(37度5分以上)
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな者
- ③ 当該疾病にかかる予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな者
- ④ 腸重積症の既往歴のあることが明らかな者
- ⑤ 先天性消化管障がい(メッケル憩室等)を有する者(その治療が完了した者を除く。)
- ⑥ 重症複合免疫不全症(SCID)の所見が認められる者
- ⑦ その他、予防接種を行うことが不適当な状態にある者

(2) 接種要注意者(接種の判断を行うに際し、注意を要する者)

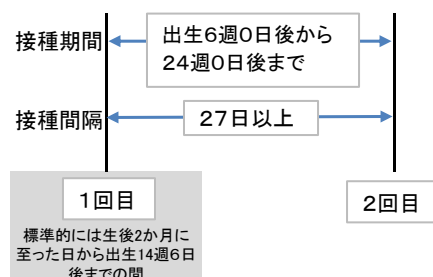
次の各号に掲げる者については、健康状態及び体質を勘案し、注意して接種しなければならない。

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患肝臓疾患、血液疾患及び発育障害等の基礎疾患を有する者
- ② 予防接種後2日以内に発熱のみられた者及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある者
- ③ 過去にけいれんの既往のある者
- ④ 過去に免疫不全の診断がなされている者及び近親者に先天性免疫不全症の者がいる者
- ⑤ 胃腸障害(活動性胃腸疾患、慢性下痢等)のある者

3 接種方法

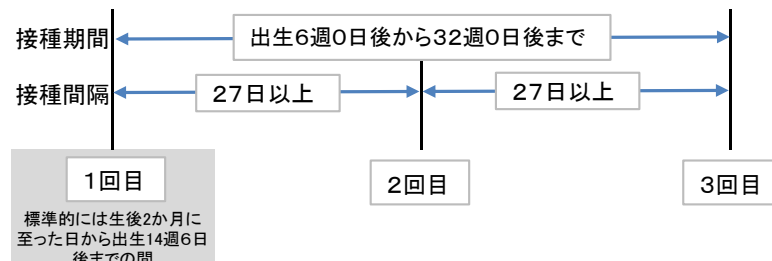
① 1価ワクチン(ロタリックス:2回接種)

接種歴を確認したうえで、27日以上の間隔をおいて1.5 mLを2回経口投与します。



② 5価ワクチン(ロタテック:3回接種)

接種歴を確認したうえで、27日以上の間隔をおいて2 mLを3回経口投与します。



※経口投与後に接種液を吐き出したとしても追加の投与は必要ありません。